


建物名称	大阪ガス実験集合住宅 NEXT21 501 住戸「プラスワンの家」	 <p>NEXT21 外観（スケルトン・インフィル方式の採用）</p>
所在地	大阪市天王寺区	
施工年	2014 年	
構造・構法・規模	1～2 階：鉄骨鉄筋コンクリート造 3～6 階：プレキャストコンクリート+鉄筋コンクリート複合構法 地上 6 階・地下 1 階の 5 階住戸：88.26m ²	
事業者名	大阪ガス株式会社	
設計者・施工者 (改修業者)	インフィル設計：NEXT21 コンペ住戸基本設計研究会 (近鉄不動産・KBI 計画設計事務所・大阪ガス) 住棟設計：集工舎建築都市デザイン研究所 施工：東急建設	
増改築・リフォームの種別	大規模な模様替え	
増改築・リフォームのテーマ・特徴	スケルトン・インフィル方式を活かし、壁面・内装を改修し新しい住戸を建設。誰かと何かをシェアする家をテーマとした住戸。近年増加する「1.5 世帯」（夫婦＋単身の子）に向けた新しい住宅のカタチを提案（NEXT21 設計パートナー・コンペティション最優秀作品）。燃料電池（エネファーム typeS）の導入に加え、太陽熱の融通実験を実施する事で、更なる省エネに取り組む。	

採用された環境共生要素技術	省エネ	高効率な燃料電池（エネファーム typeS）の導入、太陽熱と組み合わせた更なる省エネ熱損失の低減（省エネ地域区分 6 地域より 2 ランク高い 3 地域基準）
	省資源	変化対応型工構法（スケルトン・インフィル方式）の採用 生活排水の中水利用（植栽の灌水）
	親和性	豊かな内外の中間領域の創出（共用廊下と繋がる土間空間・バルコニーの緑地と住戸内の繋がり）
	健康快適	人の健康・環境に配慮した建材の使用徹底（JIS 及び JAS の F☆☆☆☆品、MSDS での品質確認） 通風や換気性能を確保（気候の良い時期は風を通し、快適に過ごす）
先導事業・認定等の取得	平成 24 年度「住宅・建築物省 CO2 先導事業」採択	



共用廊下とつながる土間が中間領域となり、外部の豊かさを享受



床面を下げたバルコニーの緑地と近づき、親和性を向上

高効率な燃料電池（エネファーム typeS）
太陽熱も有効活用



増改築・リフォームによる効果	高効率な燃料電池（エネファーム typeS）導入による電力・給湯の大幅なエネルギー使用量削減に加え、購入電力削減による節電・ピークカットに貢献。太陽熱を融通することで、更なる省エネを実現。共用廊下と繋がる土間空間を住戸内に引き込み外部空間とのつながりを創出。
----------------	---